

### 市町別生乳受託量の進捗状況(9月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	23年度累計	前年比(累計)
庄原市	933.1	21.0%	96.0%	5,902.8	94.2%
三次市	872.3	19.7%	100.4%	5,573.0	95.4%
北広島町	513.5	11.6%	94.3%	3,201.1	93.9%
世羅町	461.8	10.4%	114.2%	2,862.5	115.7%
安芸高田市	390.2	8.8%	96.3%	2,601.3	99.8%
東広島市	302.3	6.8%	94.8%	1,889.2	93.6%
府中市	249.8	5.6%	96.9%	1,644.1	95.4%
広島市	190.7	4.3%	99.2%	1,198.7	95.9%
廿日市市	138.1	3.1%	102.2%	932.6	99.1%
福山市	118.8	2.7%	86.3%	796.7	89.1%
三原市	107.1	2.4%	96.5%	681.0	93.8%
神石高原町	103.0	2.3%	88.4%	726.9	91.8%
呉市	52.7	1.2%	104.9%	338.0	100.6%
合計	4,433.4	100.0%	98.2%	28,348.0	96.8%

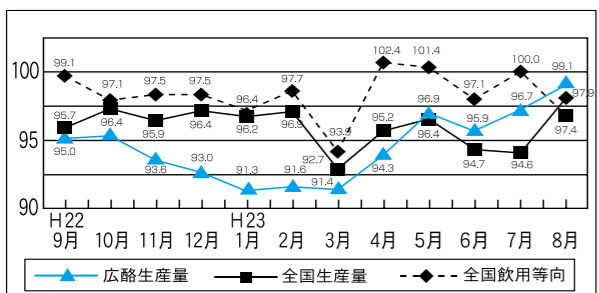
### 生乳受託実績(9月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合戸数(戸)	49	13	56	51	169
生乳出荷量(ト)	1,583.1	428.9	1,158.6	1,262.7	4,433.4
前年同月対比(%)	97.0%	97.9%	95.9%	102.1%	98.2%
前月対比(%)	94.9%	97.1%	94.2%	95.6%	95.1%
生乳出荷累計(ト)	10,055.9	2,721.7	7,439.2	8,131.2	28,348.0
広酪構成比(%)	35.5%	9.6%	26.2%	28.7%	100.0%

### 市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(8月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(ト)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	42,297	990.7	25.3%	42.7
2	三次市	39,754	953.0	23.8%	41.7
3	北広島町	19,618	527.4	11.7%	37.2
4	安芸高田市	17,854	431.0	10.7%	41.4
5	府中市	15,899	262.8	9.5%	60.5
6	東広島市	7,103	386.7	4.2%	18.4
7	世羅町	5,795	475.2	3.5%	12.2
8	福山市	5,117	124.3	3.1%	41.2
9	神石高原町	3,924	110.5	2.3%	35.5
10	三原市	3,908	73.4	2.3%	53.2
11	廿日市市	3,850	70.2	2.3%	54.8
12	広島市	1,916	201.5	1.1%	9.5
13	呉市	314	55.1	0.2%	5.7
合計		167,349	4,661.7	100.0%	32.5

### 生乳需給の前年比推移(8月) (単位:%)



## 酪農ニュース



### 家畜市場 価格の推移 【9月】

### ▼子牛価格(三次市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	16	14	87.5%	100,800	1,050	11,616	50
	雄	339	319	94.1%	69,300	1,050	28,291	56
計	355	333	93.8%	100,800	1,050	27,539	56	
F1	雌	300	267	89.0%	122,850	9,450	82,481	54
	雄	316	291	92.1%	175,350	24,150	124,530	57
計	616	558	90.6%	175,350	9,450	104,052	56	
ホルス(5才)雌	83	79	95.2%	270,900	45,150	149,049	705	

### ▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
十勝	7日	615	411	66.8%	614,250	203,700	490,215
南北海道	9日	143	108	75.5%	609,000	320,250	446,532
豊富	14日	478	288	60.3%	644,700	321,300	464,789
根室	15日	576	391	67.9%	660,450	303,450	482,879
釧路	16日	401	154	38.4%	565,950	336,000	451,418
北見	21日	484	333	68.8%	632,100	304,500	468,593
十勝	22日	631	367	58.2%	658,350	79,800	477,518
根室	29日	428	345	80.6%	705,600	336,000	492,103
合計		3,756	2,397	63.8%	705,600	79,800	471,756

- 30日 広酪ホルスタイン改良同委員会役員会
- 29日 全酪連乳用育成牛幹乳及び初妊牛売買事業主体会議(3日間)
- 28日 福山地方畜産共進会
- 27日 Jミルク地域普及連絡協議会
- 26日 庄原メンバースクラブ衛生管理研修会
- 25日 元気な広島農業戦略会議
- 24日 三原地区畜産共進会
- 23日 佐伯地区畜産共進会
- 22日 第2回酪農推進セミナー
- 21日 賀茂地域酪農団体連絡協議会人工授精研修会
- 20日 HJC幹事会
- 19日 中販連生乳安全安心確保担当者会議
- 18日 広島市畜産共進会
- 17日 北広島町畜産共進会
- 16日 世羅畜産共進会
- 15日 全国コンプライアンストップセミナー
- 14日 北広島町畜産共進会
- 13日 T P P断固阻止反対総決起集会・デモ行進
- 12日 JA新採用フォローアップ研修会
- 11日 ヘルパー調整会議
- 10日 衛生協死生牛適正処理推進会議
- 9日 甲奴郡酪農女性部役員会
- 8日 第2回酪農委員会
- 7日 受精卵システム推進会議
- 6日 農協農政協議会・食の安全安心推進協議会
- 5日 JA全中副会長就任祝賀会
- 4日 飼料工場原料入札会
- 3日 中販連実務担当者会議
- 2日 中国三県購買担当者会議意見交換会・親睦会
- 1日 平成24年度職員採用試験
- 30日 安佐南区民祭実行委員会
- 29日 中販連理事会・生乳受託販売委員会
- 28日 普及協会ボスターコンクール審査会
- 27日 JAメンタルヘルス研修会
- 26日 普及協会牛乳料理コンクール書類審査
- 25日 備北地域アパネ病検査
- 24日 上期実地棚卸監査

## 業務報告 (9月分)

### 伝言板 「乳成分・体細胞」依頼検査受付日のお知らせ (平成23年11月)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		○	○	×	○	×
6	7	8	9	10	11	12
×	○	○	○	○	○	×
13	14	15	16	17	18	19
×	○	○	○	○	○	×
20	21	22	23	24	25	26
×	○	○	×	○	○	×
27	28	29	30			
×	○	○	○			

(問い合わせ先)  
中国生乳販連  
三次生乳検査センター  
担当(宇谷・朝比奈)  
電話 〇八二四一六二一五九二一  
FAX 〇八二四一六二一九八六六

▼九月十五日、全国酪農民総決起集会とデモ行進に千五百人が集いT P P交渉参加断固反対運動を展開し、当組合関係者は二十三人が参加した。  
▼この概要は、九月二十六日日本誌号外で報じ、当組合のH Pの動画でご欄戴ください。  
▼今後行われるT P P参加反対の集会とデモ行進に参加し、T P P参加断固反対を貫き通す覚悟にある。  
▼本誌三月号はT P Pに関する特集として、再度、一読願いたい思いを強くしました。

▼本誌表紙写真は、スズメバチが花に群がる様子を至近距離で狙った。  
▼蜂は本格的な冬到来に備えるためか、大きな軒の下の巣にせっせと往復した。  
▼無我夢中、生きたために精一杯頑張っている姿に見え美しかった。  
▼「命がけの撮影？」を終えて、刺されずに済んだことに安堵した。  
▼季節はもはや秋の時期を迎え、稲刈り作業も終わった田んぼが目立つ。  
▼今年の反収は昨年並みか？皆さんの自宅では如何でしたか？  
▼九月に入り台風と雨の影響で刈り取り適期を失ったとの話も耳にした。  
▼酪農家にとっては、稲刈りと牧草収穫時期を同時に迎え、これに稲わら収穫も加わる。  
▼本誌前号を通じて「農業者の農作業事故防止」への注意喚起を啓発した。  
▼今春は、組合員やその家族が農作業中の事故により命が奪われる悲しい出来事があった。  
▼今秋は、是非とも皆さん事故なく繁忙の収穫時期を過ごされることを念じた。  
▼残念ながら組合員が農作業中に骨折し緊急入院、脳血栓で緊急入院との報が届いた。  
▼馴れた仕事による骨折は、悔やみ切れないし、本人はもとより家族など心労も語りしれないものとなる。  
▼「注意一秒・怪我一生」との熟語もあるが、農作業や車両の運転前にはこの熟語を意識してみたい。  
▼野田総理が「T P P検討を指示」し、本格的なT P P検討へのアクションが強固になった感がある。

## 編集後記

□お詫びと訂正  
らくのうだより9月号22頁上段見出しと23頁の上段見出しが左右反対となっております。また、「号外」記事のJA全中常務のコメントの内「T P Pの頭文字の解釈」を述べられたのは日本消費者連盟事務局長の山浦泰明様でした。訂正しお詫び致します。